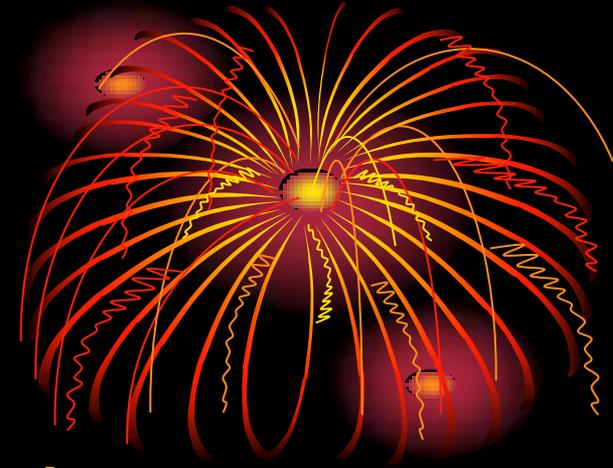


看護情報学特論 I

# オンライン在宅リハの導入 に関する考察

11-MN-16 森 珠美

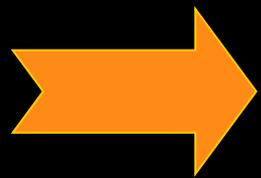
# 動機



以前整形外科病棟で働いていたとき...

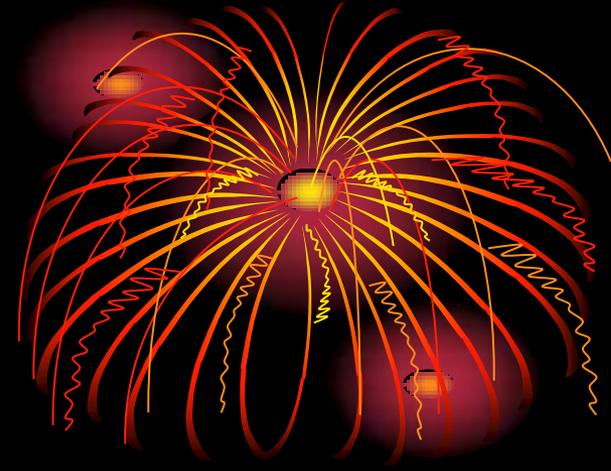
退院間近になった患者さんの

「退院後もリハビリへ通い続けるのは難しいから、もうちょっと入院してしっかりリハビリしてから帰りたい」という要望が少なくなかった。



**自宅にいながらリハビリが手軽に  
できないだろうか？**

# 調べてみると...

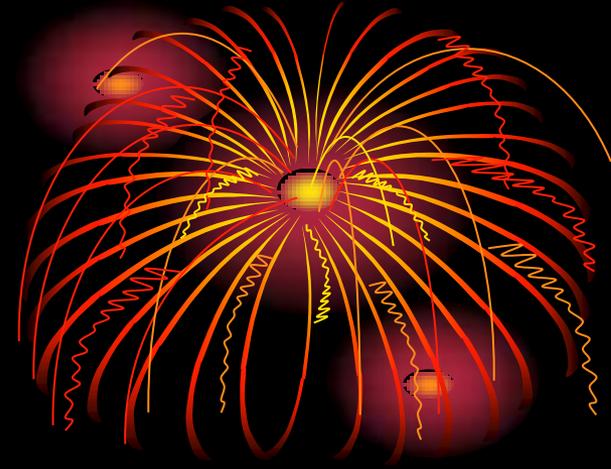


私の出身地兵庫県で

1997年～1999年までの3年間

遠隔リハビリテーション支援システムの開発事業が行われていたらしい！

# 事業の内容①



《実施地区》

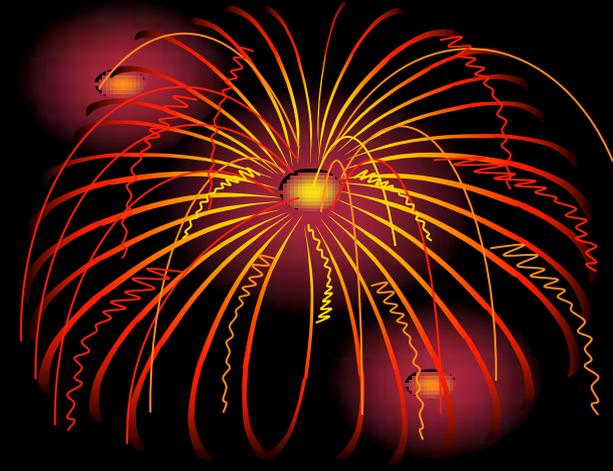
兵庫県但馬地域

全県面積の約1/4 を占めながら、人口は県人口の4%に満たず、典型的な過疎地域。

老年人口割合**27.8%**

(平成17年10月現在)

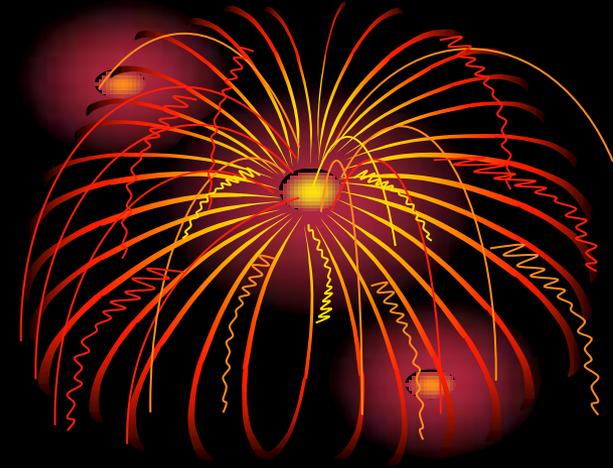
## 事業内容②



平成9年度より

但馬長寿の郷(以下郷と略す)を中心に個人  
対象者宅(5市町)とISDN(総合デジタル通信  
網)対応型テレビ電話システムを活用した遠  
隔りハビリモデル事業を実施し、遠隔りハビリ  
の有用性の検証と、映像情報通信によるリハ  
ビリ指導技術の研究開発を行ってきた。

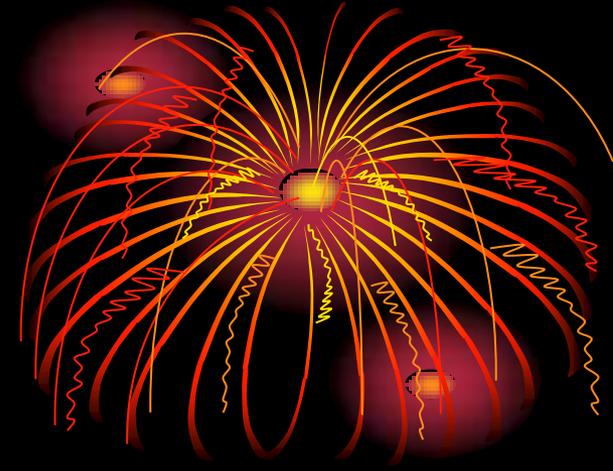
# 事業内容③



## 《システムの概要》

郷側は、Phoenix (NTT テレビ会議システム / デスクトップ型パソコンシステムに別途視覚カメラ、スピーカーを接続)、対象者側は Phoenix -mini (NTT テレビ電話に別途20インチのモニターテレビ、視覚カメラ、スピーカーを接続)を使用。

# 事業内容④



## 《指導方法》

長寿の郷のセンターからセラピストは自分の前のモニターテレビに映し出された対象者と日常・健康状態の会話をしながら手足など身体運動の指示を身振り手振りでことばをかけながら行う。一方対象者は、自宅のモニターテレビに映し出されたセラピストの動きを見ながら会話や身体運動を行う。

# 結果

- ◆本訓練で、機能の著しい回復が得られることはなかったが、本人の機能回復への意欲と社会参加の機会が増加した。
- ◆集中力を保てない、または訓練の指示内容が十分に理解できない対象者の場合は、介助者、付き添い者などのサポートが必要。
- ◆ADLの向上がみられた。

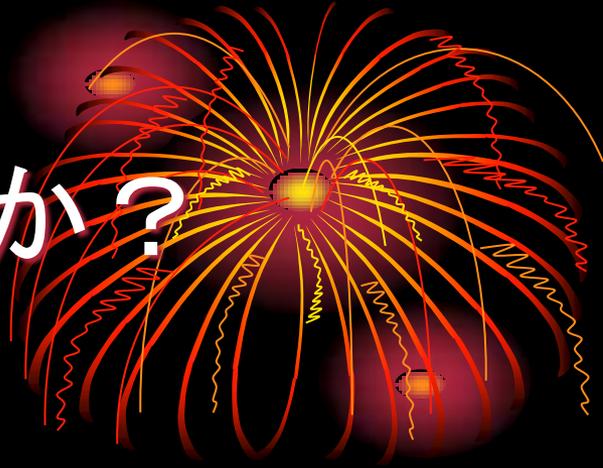


# 課題



- ◆限られたセラピストの人数で運営するので負担が大きい
- ◆対象者の体調の把握や安全性の確保
- ◆健康な高齢者の寝たきり予防として活用した方が良いのではないか
- ◆家族の協力が必要な対象の場合、家族の負担になるケースがあった

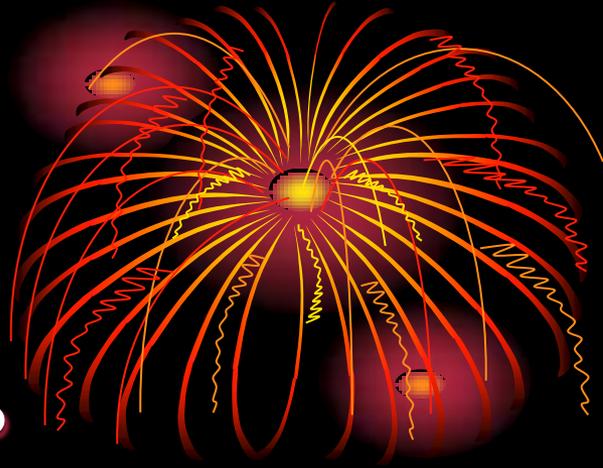
で、現在どうなっているのか？



ネットで探してみたが

事業が進んでいる形跡なし。

仕方ないので  
事業所に(電話で)  
直撃インタビューを取行。



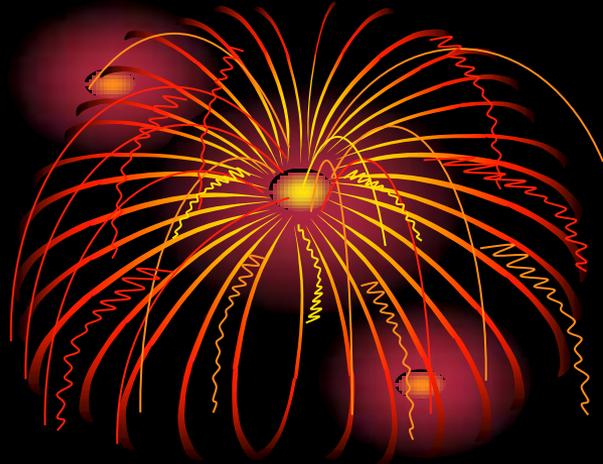
ぶっちゃけ  
今どうなってんですか？

事業は断ち切れ状態です。  
進める予定もありません。





なんで？



### ①カメラ指導の限界

対象者のリアルな感覚がわかりにくいので。リスクの方が高い。

### ②介護支援の充実

今あるものに参加を促す方が有効なんじゃないかと。  
当時より設備も充実しているし。

### ③費用対効果の関係





でも移動手段は？

路線バス廃止になったし。

コミュニティバスがあります。

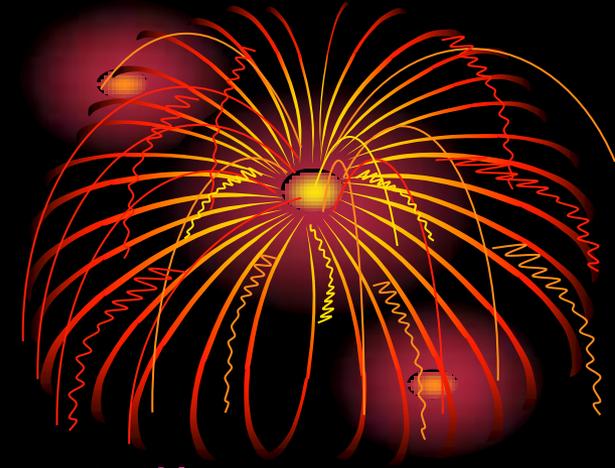
あと乗り合いタクシーも。



とは言いが...

# 十分とは思えない...

- 養父市コミュニティバス
- 新温泉町民バス
- 豊岡市市街地循環バス
- 朝来市コミュニティバス
- 香美町町民バス
- チクタク奥山 & チクタク資母



運行状況は  
1日2~4便  
中には週3回しか運行  
しないものもある

しぼ

豊岡市の支援を受けながら、地元の運営協議会が運行する乗合タクシー。

・月、火、木の運行

・電話予約。利用料金は乗降場所により100円と200円

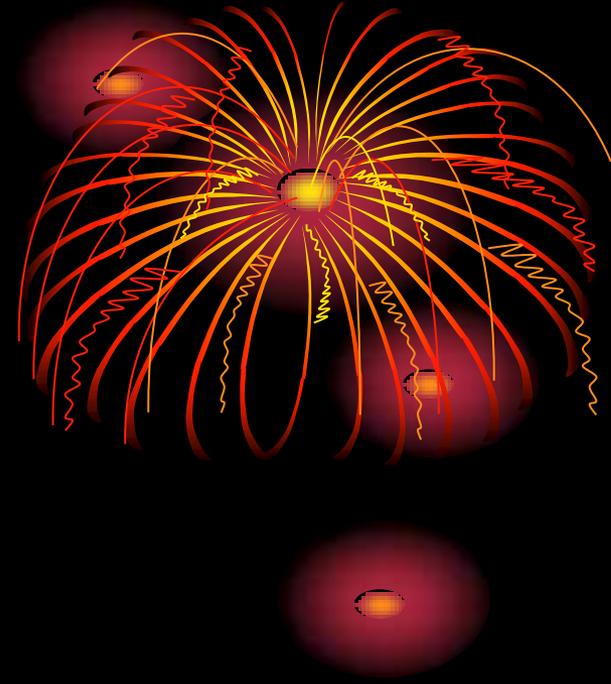
# 結論



- ◆オンラインでの在宅リハビリ導入には安全面やクオリティ面で課題が多く、現状での導入はコストも考えると非現実的。
- ◆コミュニティサービスの拡充に焦点を当てた方が現実的。
- ◆移動が困難な高齢者や障害者が有効にサービスを利用できるためには、移動手段の確保が課題。

# 参考

- 兵庫県HP : [web.pref.hyogo.jp/](http://web.pref.hyogo.jp/)
- 但馬情報特急 : [www.tajima.or.jp/](http://www.tajima.or.jp/)
- 但馬長寿の郷HP : [www.choju.jp/](http://www.choju.jp/)
- 三隅ら(1999), 遠隔リハビリテーション支援システムの開発  
<http://www.assistech.hwc.or.jp/ASSISTECH/Report/1999/ar1999-22.pdf>





ありがとうございました。

